

# 社会科学学習指導案

令和2年10月 第2学年 指導者 川島 久幸

## 1 単元名 明治維新（東京書籍）

## 2 学習指導要領上の位置付け

C 近現代の日本と世界

(1) 近代の日本と世界

課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(イ) 明治維新と近代国家の形成

開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、多面的・多角的に表現すること。

## 3 目標

課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解する。

(知識及び技能)

イ 工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、多面的・多角的に表現する。(思考力・判断力・表現力等)

ウ 明治維新の経緯や改革の内容、人々の生活の変化に対し見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を主体的に追究しようとする。(学びに向かう力、人間性等)

## 4 指導計画 ※別紙参照

## 5 本時の展開 (8 / 8)

(1) ねらい

各単位時間のまとめを基に「どうして明治政府は短期間で近代国家の建設を目指したのか」ということについて考察し、他者と話し合う活動を通して、明治政府が近代国家の建設を目指した理由を当時の国内外の情勢と関連付けて表現できるようにする。

(2) 展開

<p>学習活動 ・予想される児童（生徒）の反応</p>	<p>時間</p>	<p>○指導上の留意点 ◎研究上の手立て</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">評価項目&lt;方法（観点）&gt;</div>
<p>1 本時のめあてをつかむ。 ○「どうして明治政府は短期間で近代国家の建設を目指したのか」という単元のめあてを確認する。</p>	<p>5分</p>	<p>○単元のめあてを確認し、簡単に単元の既習事項を振り返らせる。 ○既習事項を基に、政治や文化など様々な面から考察することを意識付けする。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>[めあて] 「どうして明治政府は短期間で近代国家の建設をめざしたのか」 その理由を考えよう。</p> </div>		
<p>2 学習してきたことを基に単元の課題の結論を考える。 ○各単位時間の学習の際に、「政治」「外交」「社会の様子」の視点でまとめてきたYチャートを基に単元の課題の結論について多面的に考察する。 ・不平等条約の改正のため。 ・江戸時代の制度を改め、国力を增强するため ・不満をもった国民から国会開設の要求があったから。</p>	<p>15分</p>	<p>○各単位時間のまとめやYチャートの視点を基に考察することで国内外の情勢を関連付けて多面的に捉えられるようにする。 ○机間巡視をしながら、生徒の思考がまとまるよう助言していく。 ◎思考ツールを応用した振り返りシートを活用することによって、政治や外交、国内社会の様子の中の三つの視点を関連付けて考察できるようにする。 ○単元の課題を理解する上で重要な資料を一覧にしたものを配布しておくことで、より思考が深まるようにする。 ◎Yチャートや各単位時間のまとめを基に、明治政府が短期間に近代化した理由について自分の考えを簡潔にまとめさせる。</p>
<p>3 班で交流し、何が明治政府を近代国家を急がせたのかを話し合う。 ○「どうして明治政府が短期間で近代国家の建設を目指したか」について、班として明治政府が近代化に急いだ理由を考える。 ・近代化を急いだ理由は条約改正をしようとしたから。 ・近代化しないと中国のように侵略されてしまうから。 ・藩閥政治への不満や不平士族の反乱、自由民権運動への対応のために議会の開設しようとしたから。</p>	<p>20分</p>	<p>◎個人でまとめたYチャートや自分の考えを交流し、班としての結論を考えさせることで、単元の課題について多角的に理解できるようにする。 ○政治や外交、国内の様子などの視点から話し合うことによって、社会的事象を多面的に捉えられるようにする。 ○意見交換をしていく中で班としての結論をまとめさせることで、各視点を比較・関連付けて考察できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>単元の課題について、政治・外交・社会の面から自分の考えを多面的・多角的に表現することができている。 &lt;ワークシート(思考・判断・表現) [記] &gt;</p> </div>

<p>4 本時のまとめをし、学習の振り返りをする。</p> <p>○学級全体で単元の課題についてまとめる。</p> <p>○個人で単元の課題を意識した振り返りをする。</p>	<p>20分</p>	<p>○班ごとに近代化を目指した要因を一つ挙げさせ、黒板に掲示する。それらの意見を比較し、検討させることによって、その事象だけが関わっているのか問いかけることによって、様々な要因が絡み合っていることに気付くようにする。</p>
---	------------	---

## 6 板書計画

<p>めあて 「どうして明治政府は短期間で近代国家の建設をめざしたのか」その理由を考えよう。</p>			
<p>ホワイトボード</p>	<p>ホワイトボード</p>	<p>まとめ</p>	
<p>ホワイトボード</p>	<p>ホワイトボード</p>	<p>キーワード 条約改正、憲法、 富国強兵、殖産興業、 自由民権運動</p>	<p>明治政府が短期間で近代化を目指したのは、国家の独立を守るために必要だったから。 急激な改革や藩閥政府に批判が出る中、国内の批判を抑えるために議会や憲法を整える必要があったから。</p>

指導計画 社会科 第2学年 単元名「明治維新」(全8時間計画)

目標	<p>課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解する。 (知識及び技能)</p> <p>イ 工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、多面的・多角的に表現する。 (思考力・判断力・表現力等)</p> <p>ウ 明治維新の経緯や改革の内容、人々の生活の変化に対し見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を主体的に追究しようとする。 (学びに向かう力、人間性等)</p>			
評価規準	<p>(1) 明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことを理解している。</p> <p>(2) 工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、多面的・多角的に表現している。(思考力・判断力・表現力等)</p> <p>(3) 明治維新の経緯や改革の内容、人々の生活の変化に対して見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究している。</p>			
過程	時間	○ねらい ☑めあて	・振り返り(意識)	評価項目 〈方法(観点)〉
つかむ	1	○新政府の方針や諸改革の内容を調べ、中央集権国家の体制が確立していったことを理解させる。  ☑ どうして明治政府は短期間で近代国家の建設を目指したのか。	・廃藩置県や身分制度の廃止を行い、江戸時代の制度から少しずつ変化していったことが分かった。	・明治時代の社会の変化に興味をもち、意欲的に追究している。〈ワークシート(3)〉
追究する	1	○新政府が行った学制・兵制・税制の改革の具体的な内容を理解し、その影響について、適切に表現させる。  ☑ 明治政府の三大改革は人々にどんな影響を与えたのか。	・明治政府が学制や兵制、税制を改革したことが分かった。一部の改革は急激すぎて人々に受け入れられず、一揆が起きたことも分かった。	・新政府が行った改革について、江戸時代と比較しながら、社会の変化について表現している。〈ノート(2)〉
	1	○文明開化などによって、欧米文化が流入したことによって、人々の生活が大きく変化したことに気付かせる。  ☑ 欧米の文化が流入して、人々の生活はどう変わったのか。	・欧米の文化が受け入れられ、生活が大きく変化した。欧米の技術も取り入れられ、富国強兵・殖産興業政策がとられた。	・資料を活用し、人々の生活の変化を江戸時代と比較してまとめている。〈ワークシート(1)〉
	1	○岩倉使節団の目的と帰国後の近代化への影響、明治初期の外交政策について考えさせる。  ☑ 岩倉使節団の派遣は政府の政策にどんな影響を与えたのか。	・岩倉使節団は欧米諸国を歴訪し、視察した結果より国内の近代化を進めなければならぬと考えたことが分かった。	・岩倉使節団の帰国後の影響についてノートにまとめることができる。〈ノート(2)〉
	1	○領土の確定について、近代的な国際関係の下で新政府が行った外交政策を理解させる。  ☑ 明治初期の政府は近隣のアジア諸国とどんな外交を行っていたのか。	・アジアでは国境線が曖昧だったが、明治政府が近隣諸国と国境を確定していったことが分かった。沖縄や北海道がこの頃日本の領土になったことも分かった。	・国境と領土の確定について地図を使って適切にまとめている。〈ワークシート(1)〉
	1	○自由民権運動が始まった経緯や改革への不満から士族の反乱が起きた過程を理解させる。  ☑ どうして自由民権運動が盛んになったのか。	・西南戦争は士族側の敗北で終わり、それ以降は言論による活動が活発になったことが分かった。	・自由民権運動から国会開設まで、民権側と政府側のそれぞれの主張を比較し考察してことを表現できている。〈ノート(2)〉
	1	○政府が主導した憲法制定の過程を調べ、憲法の特色を理解させる。  ☑ 自由民権運動が盛んになる中、どうやって憲法が成立したか調べよう。	・アジアで初の近代憲法が政府の主導のもとで作成されたことが分かった。また帝国議会も開かれ、近代国家ができたことが分かった。	・憲法制定後の選挙制度についてグラフを用いて読み取ることができる。〈ワークシート(1)〉
まとめる	1本時	○明治政府が近代国家の建設を目指した理由を、当時の国内外の情勢と関連付けて表現させる。  ☑ 「どうして明治政府は短期間で近代国家の建設を目指したのか」その理由を考えよう。	・明治政府は不平等条約の改正のためには国際的な地位を確保することが必要だということから、近代国家の建設を急いだことが分かった。	・単元の課題について、政治・外交・社会の面から自分の考えを多面的・多角的に表現することができている。〈ワークシート(2) [記]〉